

## 2024年度（令和6年度）事業計画書

障害者支援施設 緑の家

### 1 施設を取り巻く現状と課題

#### (1) 事業の種類及び利用定員

- ① 施設入所支援事業 50名
- ② 生活介護支援事業 50名
- ③ 短期入所支援事業 2名

#### (2) 県市町村等からの受託、補助事業等

- ① 地域交流ホーム（福祉避難場所）

#### (3) 地域における公益的な取組

- ① 町内の清掃活動（町内一斉清掃、栃川井路草刈）
- ② 生産活動（援農請負作業、スマイル広場でのパン製造）
- ③ 障がい者の学び支援事業（くらし支援部会及びゆふぽきらきら教室の参加）

#### (4) 運営方針

法人理念、価値観を基本とし、入浴・排泄及び食事等の介助や日常生活に関する援助・相談等、利用者さんの意思を尊重した支援を行います。生活介護事業においては、能力に応じた創作活動、生産活動の機会を提供します。生産活動は、利用者さんの個性、能力に応じて生販促進班（パン製造作業）と技術工芸班（援農・営農作業）に分かれて活動し、日々の暮らしが充実したものになるよう支援を行います。また、利用者さんがスマイル広場を活用して地域交流や社会参加の機会を得ることにより、様々な体験・経験を重ね、地域社会への移行を視野にグループホーム、就労支援事業所の利用に繋げていけるよう、市町村や他の障がい福祉サービス事業者等、地域との連携に努めます。また、職員一人ひとりが質の高いサービスを提供する事ができるよう、研修会等への積極的な参加による専門性の向上と自己研鑽を図り、笑顔あふれる働きやすい職場づくりに努めます。

各種法令の遵守、権利擁護、虐待防止、差別解消、意思決定支援を大切にし、利用者が安全かつ安心して暮らせるよう、利用者本位のサービス提供及び目標達成に向けた福祉サービスの実践に努めます。

## 2 施設の実施策と取組の方向性

### (1) 職員が働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

ア 福祉・介護業界のイメージアップを図り、多様な働き方を推進する。

実施施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習生や施設見学の受け入れ、情報発信</li> <li>・ 各種休日の取得、各種資格取得制度の活用</li> </ul>
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実習や施設見学について積極的な受入れを行うも、入職への反映が少ない。</li> <li>・ パン製造を契機にスマイル広場での広報活動など情報発信を行うが、お店全体の情報発信の機会が少ない。</li> <li>・ 年次有給休暇においては年間計画を立てて計画的な取得を目指す、現場の人員不足により出勤職員の負担が生じている。</li> </ul>
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営企画室との連携を図りながら積極的な広報活動に繋げていき、集客に反映させていく。</li> <li>・ 計画的に取得可能な体制を整え、全職員での連携体制の構築を図る。</li> </ul>

イ OJT 制度を中核に職員一人ひとりを育成し、チームケアを推進する。

実施施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人財育成</li> </ul>
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入職からの経験年数が少ない状況で教育体制が整っていない傾向にあり、生産活動に係る専門的技術や支援スキルに繋がっていない。</li> </ul>
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新任職員だけでなく、中途採用職員にもメンター制度の導入及び業務内容説明などを取り入れ、職員一人一人の困りや課題を把握し、育成に繋げる。</li> </ul>

ウ 職場風土を改善し、職員の定着率とモチベーションを高める。

実施施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員間のチームワーク力</li> </ul>
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日々の業務において、様々な職種や経験年数による価値観の不一致から一貫性がとれていない。</li> </ul>
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員間の協調性を高め、全職員で生産活動や利用者支援に取組み、情報共有の場を確保する。</li> </ul>

エ 業務の生産性を高め、ワークライフバランスを推進する。

実施施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務内容、仕事内容の見直し</li> </ul>
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月、カエル会議を実施し、意識改革をはじめ働きやすい職場づくりに向けて取り組んでいますが、一部職員への負担が目立ち業務量の調整が必要である。</li> </ul>

取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に職員間での業務や仕事内容の洗い出し、必要に応じて指導職との面談などを取り入れ、業務を効率的に進めるとともに負担軽減に努め、時間外勤務を減少させていく。</li> </ul>
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 利用者の生活を支えるサービスの質の向上

ア先進的で魅力あるサービスを提供し、サービスの質を高める。

実施施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の専門知識の向上</li> </ul>
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の重度高齢化に伴い、高い専門知識や技術が求められているが、経験や知識不足な部分が顕著に伺える。</li> </ul>
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職及び指導職から支援に係る内容としての園内研修を実施。また外部研修にも積極的に参加し復命報告を踏まえ、職員間で共有していく。</li> </ul>

イ安全安心で快適な暮らしを保証し、利用者の満足度を高める。

実施施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全、安心な環境整備</li> <li>・日中、余暇活動の充実</li> </ul>
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の重度高齢化、また医療的ケアの高い方が増え、支援に係る環境整備の必要性が増えてきた。</li> <li>・日々変化をつけ充実を図るも、利用者さんの特性に合わせた計画から実施までに至っておらずチーム内で模索することが多かった。</li> </ul>
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者さんの重度高齢化及び高い医療的ケアに伴い、必要となる施設整備（バリアフリー化）に取り組む。</li> <li>・定期的な活動の見直しや利用者さんの満足度の確認や、職員間での情報交換を行い、利用者さんが安心、安全に過ごせる活動の検討や取り組みをする。</li> </ul>

ウ施設機能を積極的に開放し、地域とのつながりを強化する。

実施施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中活動を通じた地域交流の実践</li> </ul>
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術工芸班の援農作業や生販促進班のパン製造販売においては地域との関わりを持ちながら活動に取り組んできたが、請負作業において経験不足からの粗さが目立ち地域の方からの満足度が得られない。</li> </ul>
取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流の場としてのスマイル広場を活用した取り組み（清掃活動、作品の展示、施設の広報活動）を行い、また職員の機械類の操作等を基に技術向上をはじめ、丁寧さを追求し地域との連携強化を図る。</li> </ul>



## 4 固定資産物品購入計画

(単位：千円)

名 称	執行見込額
冷蔵庫	100

## 5 修繕計画（大規模修繕を除く）

(単位：千円)

名 称	執行見込額
鶴見棟トイレバリアフリー・トイレ排水工事	1000
由布棟浴室及び職員用浴室改修	2000

## 6 大規模修繕計画

(単位：千円)

名 称	執行見込額